



在宅生活を支援するために

拓光園デイサービスセンター

知的障害者
更生施設
拓光園

平成15年4月に開設となった『拓光園デイサービスセンター』も今年で3年目を迎えることになりました。現在では、知的障がいを持った方々のデイサービスという認識も地域に浸透してきつつあり、それに伴い利用される方々も増え毎日がとても活気あるものになっています。開設当初は岩木町や弘前市の方が殆どでしたが、今では黒石市、鯉ヶ沢町と遠方からの利用も増えてきています。

―やりたい活動の提供―

利用者の方々は、センター到着後バイタルチェックを受け活動に入りますが、当センターでは数多くの活動内容を準備しています。農園作業、陶芸、裂き織り、ガラスアート、刺し子、ビーズアート、等々、利用者の方々からの希望を取り入れた活動を行っています。こうすることで活動に興味を持ち、現在では「自分の仕事」といった感覚で継続性を持った取り組みができるようになりました。「刺し子は誰にも負けない。」「刺し子は

私に任せて」といった様にプロ意識めいたものさえ感じられます。作品自体も非常に個性あふれるものになってきました。利用者の方々の作品は、弘前市文化センターで毎年行われている作品展で展示販売しています。今年も5月30日、6月1、2日の3日間行う予定になっています。すのて是非ご来場下さい。

また、作業的な活動ばかりではなく月に1、2回の割合で外出活動も行っています。季節にあつた外出を利用者の方々と一緒に計画し実施しています。弘前城桜祭り見学、わらび採り、さくらんぼ狩り、西海岸へのドライブ、温泉外出などバラエティに富んだものとなっております。人からはもちろんご家族の皆様からも喜びの声が聞かれています。

またこれには、ただ外出を楽しむということだけでなく社会適応技術の習得という目的もあります。地域の人たちとの関わりの中でのマナーの習得や、金銭の受け渡し、公共機関の活用など一人ひとりのニーズにあつた支援も行っています。

―多様なニーズに応えたい―

やりたい仕事があつてもその仕事に就けない、家族が高齢で外出の機会が少ない、自宅に風呂がなく入浴機会が少ない、など利用者の方々には様々なニーズがあります。まだ私達にも分からない潜在的なニーズもたくさんあると思います。そのようなニーズを掘り起こし対応していくことで知的な障がいを持つた方々の在宅生活をより豊かなものにしていかなければならぬと考えています。

どのようなご相談でも構いません。お尋ねになりたいことがありましたら当センターまでお問い合わせ下さい。

拓光園デイサービスセンター
TEL 0172-961-2331

峰のひかり

発行人 会 社
社会福祉法人 七 峰 会
理事長 奥田 稔
〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町21-8
電話 (0172) 33-8861
FAX (0172) 33-8862

腕のよい職人にお任せ下さい

旭光園シール・ラベル印刷

身体障害者
授産施設

旭光園

「あつ、このラベル見たことがある！」「本当だ」当園を見学に来られた方から、よく耳にする会話です……。

旭光園の5つの授産作業の中にシールラベル印刷部門があります。開設当初は当然全員が素人であり、一からの取り組みに四苦八苦の毎日でした。それが技術の向上と共に受注量も次第に増え、1台の印刷機でスタートしたものが、現在は3台となり利用者5名・職員3名のスタッフでの作業となつています。印刷には熟練した技術を必要とします。微妙な色合わせから印刷柄はミリ単位での修正を要求される非常に細かな作業です。スタッフの中には4年目という経験の浅い方も居ますが、25年目のベテランが手助けする絶妙なチームワークで、多彩な注文に対応しています。

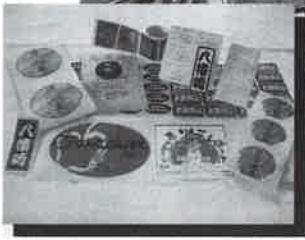
ひと味ちがう製品を！

商品名のラベル・製造者や成分の表示ラベル・スーパリーの値引きシール・書類の訂正シール等な

ど、MADE IN 旭光園のラベルが身近なところで利用されています。またデザインもお引き受けします。

先日、マイブランドのりんごジュースにラベルを貼りたいとのこと注文がありましたので、子供さんの描いた絵をデザインにビンのラベルを作ったところ、たいへん喜んで頂きました。

自社の商品に付加価値をと思われている方、旭光園のラベルを一度利用してみませんか。腕の良い職人が自信をもってお引き受けいたします。



どう変わる、介護保険！

特別養護
老人ホーム

サンアツカホーム

青森県の高齢化率（総人口に対する65歳以上の人口の割合）は21・0%。弘前市は21・1%です。約5人にひとり（65歳以上ということになります）。この高齢化を社会全体で支える仕組みが介護保険制度です。介護保険は、平成12年度からはじまりましたが、3年毎の介護報酬の見直し、5年毎の制度の見直しが行われます。

今回の介護保険法改正の中の一つに「介護予防」を重視したサービスの新設が予定されています。介護予防は、介護を要する状態になることを予防し、健康で元気に生活し、健康寿命（自分の力で生きていく時間）を長くすることを目的としています。対象者は「要支援」「要介護1」など軽度の要介護者であり、平成18年度から始まる新しいシステムです。予防プランの作成は市町村の責任で行なわれますが、今後の動向が気になるところです。

今のところ、介護保険やそれ以外の介護サービス、困ったこと

満や不服は、これまで通りケアマネージャーへ相談ください。ケアマネージャーが、専門的立場からアドバイスします。また、ケアマネージャーは日常生活のアドバイザーであり、利用者と制度を結び役割もあります。介護保険についてはお気軽にご相談ください。

また、特別養護老人ホームサンアップルホームでは、今春5月の開設を予定とし弘前市若葉にグループホームとデイサービスセンターを建設中です。ご利用にあたっての相談や申し込みは左記にお問い合わせください。

▼特別養護老人ホームサンアップルホーム

▼弘前市高杉字尾上山350

▼TEL 0172-97-2111



おらほの 自転車屋さん♪

知的障害者
通動寮
拓心館

今回は通動寮拓心館の利用者の方々の日常に欠かせないもの、『自転車』に関するお話をしたいと思います。

拓心館では今年もまた例年通り、4月1日から自転車が解禁となり、小屋で冬の間中眠っていた自転車数十台が一斉に動き出しました。拓心館利用者の方々の交通手段といえば、バスや電車、徒歩、そして自転車ですが、雪が降る時期の自転車は危険なので、冬の間の交通手段には毎年不便さを感じています。雪が溶けて桜の季節のこの時期になると自転車の季節の到来です。

3月、今年も拓心館内は「いつから自転車に乗れるのだろう…」とソワソワした雰囲気になり、『ある人』が来ることを心待ちにしていました。その人は『サイクルせい』の清野さんです。

清野さんは、桔梗野にある『サイクルせい』という自転車屋さんで、毎年3月になると利用者の方々が今年も安全・快適に自転車

に乗れるよう、隅々まで点検をしてくれます。その他にも、自転車のタイヤがパンクすれば翌日の出勤に間に合わせて修理してくれたり、またある日は正しい自転車の乗り方の指導をしてくれたりと、『自転車のことは清野さん!』と、利用者の方々からの信頼もピカイチです。「清野さんから自転車を買いたい」と現在貯金中の方もいるほどです。

「困ったことがあればいつでも来ます!」という清野さんの頼もしい言葉。その言葉に支えられ、今日もまた利用者の方々は安全・快適に自転車で走行中です。



『キッズサービス』

開始!

身体障害者
療護施設
山郷館

山郷館ではこの4月より、放課後対策の一環として学童預かりの事業を開始しました。

家族が不在等の理由から、児童館が終わった後も帰宅できない子どもたちを対象に、デイサービスセンターの活動終了後その一部を開放し、安全な環境で必要な時間お預かりするというサービスです。

子どもたちが安心して健やかに過ごせる場を提供すること、それにより家族も安心して仕事ができる環境作りを支援することを目的として、七峰会が公共的事業として独自に実施します。

具体的な利用内容は、次のとおりです。

○事業名 学童預かり事業
七峰会キッズサービス

○場所 弘前市大久保字西田92-3
山郷館デイサービスセンター弘前内

○対象 小学校卒業年齢まで(保育児は対象としておりません)

○利用日 月曜日から金曜日

○利用時間 午後5時より
午後8時

○費用 一時間400円(以降30分毎に200円を足した料金となります)
おやつ代として50円

○内容 時間内のお預かり
・屋内でのレクリエーション

○職員 専任1名
(学童5名まで)

○申し込み問い合わせ
山郷館デイサービスセンター弘前
TEL 0172-33-7300

「児童館が終わってもお父さんやお母さんが仕事でまだ帰れない」、「子どもが小さいので一人家におくのは不安!」そんな環境のご家庭が増えていきます。ぜひ、ご相談ください。

お願い

山郷館デイサービスセンター弘前では、この事業に役立てる為に、使用しなくなつた、絵本や教材等の寄付を受け付けています。

皆様のご支援をお願い申し上げます。

いわせてネット



拓光園には、高屋住宅と城西住宅という二つのグループホームがあり、それぞれ4人の入居者が生活していますが、今回の「いわせてネット」は世話人に入居者の余暇について聞いてみました。

高屋住宅の4人の入居者は日中職場実習に出かけています。帰宅してからは楽しい余暇時間を過ごすことができています。そんな4人が今夢中になっているのが、ジグソーパズルです。一人が100ピース位から始めたのですが、次第にみんな協力して作り始めるようになり、今では1000ピースに挑戦するようになりました。完成したパズルはお部屋に飾って楽しんでいきます。みんな協力して一つのものを作り上げていく楽しさを味わうことができています。

世話人 溝江千春



城西住宅では、この冬編み物が大流行しました。寒くて外に出る機会が少なかったせいもあり、部屋で編み物をする時間が増えました。色々な毛糸を買い、マフラーや帽子を編んでいます。セーターやベストなどに取り組む人もいて、編みあがった時はとてもうれしそうな表情を見せていました。出来上がったものは、自分で身につけたり、人にプレゼントして喜ばれたりしています。

世話人 矢嶋恵美子

拓光園春の活動開始

知的障害者
更生施設

拓光園

雪深い弥生の里にもようやく春が訪れようとしています。例年に無い大雪の名残りがまだ敷地のあちこちに残っているとはいふものの拓光園では本格的に作業を開始し始めています。

椎茸班では、ほだ木に菌を植えつける作業が真っ盛りです。梅雨の前にはおいしい椎茸が食べられそうです。

腐葉土班では、雪の下から顔をのぞかせた柏の落ち葉を集めています。腐葉土の材料は今の時期が一番豊富です。

軽作業班では、中庭の美化として花苗の植え付けを行っている最中です。

石鹸班は「みんなの石けん」の生産に励んでいます。

拓光園の製品は今年も5、6月の作品展（文化センター）、9月のカルチャーロード、そのほか園の行事などの際、皆様に紹介、販売する予定です。ご希望の方はぜひ拓光園にお問い合わせください。

総合支援

弘前市委託事業
身体障害者相談支援事業
弘前市障害者生活支援センター
TEL 31-2400
青森県指定
津軽障害者就業・生活支援センター
TEL 82-4520

知的障害者援護

拓 心 館 TEL 82-4520
知的障害者グループホーム（9か所）
生活自立訓練事業
地域生活支援センター
勇心学園
デイサービスセンターエイブル
光 園 TEL 96-2331
通所利用事業
拓光園デイサービスセンター
拓光園短期入所支援センター
拓光園障害児短期入所支援センター
知的障害者グループホーム2ヶ所

身体障害者援護

旭 山 郷 館 TEL 97-2211
身体障害者（児）短期入所事業
山郷館デイサービスセンター
山郷館デイサービスセンター弘前
山郷館デイサービスセンターくれよん
山郷館訪問介護センター
山郷館訪問介護センター黒石
光 園 TEL 57-5155
通所相互利用事業
旭光園身体障害者短期入所事業
身体障害者福祉ホーム さわら

特別養護老人ホーム

サンアップルホーム TEL 97-2111
サンアップル短期入所生活介護センター
サンアップルホームデイサービスセンター
サンアップルヘルパーセンター
グループホームアップル
（認知症対応型共同生活介護）
弘前市委託事業
サンアップル在宅介護支援センター
TEL 97-2131

居宅介護 支援事業

山郷館居宅介護支援センター
TEL 97-2941
サンアップル居宅介護支援センター
TEL 97-2131